

学校現場での脳脊髄液減少症の対応について

学校現場での脳脊髄液減少症の対応は？



大槻ゆり子 議員

答

安静を保ちつつ、保護者へ連絡し、医療機関で受診させます。

児童生徒の疾病や怪我に
対して、教職員の迅速で適切な対応が重要であることから、文科省の通知を受け、市内の小中学校に文書を配布し、適切な対応をするよう指示しました。学校でスポーツ事故等が発生し、児童生徒に頭痛やめまい等の症状が見られた時は、安静を保ちつつ、医療機関で受診させたり、保護者に連絡し、受診を促したりするよう指導しております。

答

教育指導部長

文科省通達の「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」の、市教委の見解と、学校現場での対応は。

問

学校での部活動や体育の授業、友だちとの遊びなどでも起こりうる「脳脊髄液減少症」は本市でもいつ起こるかわからない心配がある。

答

教育指導部長

9月に県教委主催の学校安全指導者講習会が開催され、市内小中学校の担当者が出席し、脳脊髄液減少症の研修を受講しました。また、1月の校長会議を通じ、全教職員に周知徹底を図り

問

全教職員の研修の実施と保護者への周知、研修用の小冊子の配布は。

ます。保護者への周知は、脳脊髄液減少症を正しく理解していただくことで、適切な対応につながるよう、学校保健だより等で周知してまいります。冊子の配布や研修資料については、今後検討します。

問

市のホームページで情報提供すべきでは。

答

健康福祉部長

県のホームページでは、脳脊髄液減少症とはどのような病気なのか、また県内の診療可能な医療機関などの情報提供を行っております。高島市においても脳脊髄液減少症の理解が進むことは、早期発見・早期治療に繋がることから、医療機関との連携を図り、市民への情報提供に努めてまいります。

※脳脊髄液減少症：交通事故やスポーツ外傷など、頭部や全身への強い衝撃によって脳脊髄液が漏れ続け、減少する事によって起こる「頭痛やめまい、吐き気」などの症状に慢性的に苦しめられる病気

その他の質問

●食品ロス削減とフードバンクの取り組みについて



脳脊髄液減少症の小冊子